

## 一部弱含んでいるものの持ち直している

(前回:一部弱含んでいるものの持ち直している)

生産は持ち直している。輸出は3か月連続の増加。個人消費は横ばい傾向。雇用は求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる。

## ■ 5月生産:持ち直している

(4月:持ち直している)

- 鉱工業生産指数 98.3  
前月比 ▲ 7.1% (3か月ぶり)  
前年同月比 +13.6% (3か月連続)
- 全13業種中、上昇は5業種  
化学・石油石炭製品工業、金属製品工業等
- 低下は8業種  
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、汎用・生産用・業務用機械工業等

(出所:九州経済産業局)

## ■ 5月輸出:増加(3か月連続)

(4月:増加)

- 輸出額 4,755億円  
前年同月比 +35.1% (3か月連続)
- 主要品目  
自動車 995億円 +71.4% (4か月連続)  
電子部品 487億円 + 1.6% (3か月連続)  
鉄鋼のフラットロール製品 484億円 +78.4% (7か月連続)
- 国別  
中国 1,304億円 + 11.5% (6か月連続)  
米国 516億円 +113.2% (4か月連続)  
韓国 518億円 + 62.1% (10か月連続)

(出所:門司税関)

## ■ 5月個人消費:横ばい傾向

(4月:横ばい傾向)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)  
1,180億円 前年同月比 +8.8% (3か月連続)
- コンビニ 955億円 + 6.0% (3か月連続)
- 家電大型専門店 299億円 + 0.1% (8か月連続)
- ドラッグストア 603億円 ▲ 4.2% (4か月連続)
- ホームセンター 335億円 - ( - )
- 新車登録台数 27,495台 +52.1% (8か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

## ■ 5月雇用:求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる

(4月:求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる)

- 有効求人倍率 1.17倍  
前月比 +0.04ポイント  
(5か月連続)
- 新規求人倍率 2.05倍  
前月比 +0.23ポイント  
(2か月ぶり)
- 新規求人数  
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

## ■ 業況:横ばい

- 6月の業況DI (%ポイント)  
全産業 ▲ 7 変化幅± 0  
製造業 ▲ 2 変化幅+ 2  
非製造業 ▲ 9 変化幅▲ 1
- 先行き(9月)  
全産業 ▲ 4 変化幅+ 3  
製造業 + 3 変化幅+ 5  
非製造業 ▲ 7 変化幅+ 2

(出所:日本銀行福岡支店 短観6月)

## ■ 設備投資:減少

- 20年度(実績)  
全産業 ▲15.6%  
製造業 ▲13.1%  
非製造業 ▲19.8%
- 21年度(計画)  
全産業 +28.5%  
製造業 +35.1%  
非製造業 +16.6%

(出所:日本銀行福岡支店 短観6月)

## ■ 5月住宅建設:増加(3か月連続)

- 新設着工戸数 7,041戸  
前年同月比+3.9%  
(3か月連続)
- 持家 2,445戸  
+ 8.5% (3か月連続)
- 貸家 2,728戸  
▲12.0% (3か月ぶり)
- 分譲 1,859戸  
+31.9% (4か月連続)

(出所:国土交通省)

## ■ 5月公共投資:増加(2か月ぶり)

- 工事請負金額 1,494億円  
前年同月比+13.1% (2か月ぶり)
- 発注者別前年同月比  
国 +10.2%  
独立行政法人等 ▲38.9%  
県 + 32.8%  
市町村 + 3.3%

(出所:西日本建設業保証株)

## ■ 5月倒産:減少(11か月連続)

- 倒産件数 36件  
前年同月比 ▲2.7%
- 負債総額 81.5億円  
▲22.1% (2か月連続)
- 業種別件数(前年同月比)  
製造業 4件 (▲20.0%)  
卸・小売業 9件 (▲25.0%)  
建設業 9件 (+80.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

# 九経マンスリー (2021年5月)

2021年7月13日  
九州経済産業局

今月の管内経済動向: 九州地域の経済は、一部弱含んでいるものの持ち直している

生産は持ち直している。輸出は3か月連続の増加。個人消費は横ばい傾向。雇用は求人改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2021年5月)			
<b>1. 生産動向</b> 5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、98.3となり、前月比が▲7.1%と3か月ぶりの低下となった。	<b>■生産動向【九州経済産業局】</b>	<b>前月比</b>	<b>前年同月比</b>	
	生産指数	▲7.1	13.6	
	(参考)出荷指数	▲11.5	21.2	
	在庫指数	0.6	▲13.5	
<b>2. 設備投資動向</b> 2021年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+35.1%、非製造業は同+16.6%、全産業は同+28.5%と前年度を上回る見込み。	<b>■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2020年度実績、2021年度計画)</b>	<b>2020年度</b>	<b>2021年度</b>	
	全産業	▲15.6	28.5	
	製造業	▲13.1	35.1	
	非製造業	▲19.8	16.6	
<b>3. 貿易動向</b> 5月の輸出額は、前年同月比+35.1%と3か月連続の増加。輸入額は+36.2%と2か月連続の増加となった。	<b>■貿易動向【財務省】</b>			
	輸出通関額	4,755億円		35.1
	輸入通関額	4,422億円		36.2
<b>4. 消費動向</b>	<b>■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】</b>			
<b>●百貨店・スーパー販売額</b> 5月の百貨店・スーパー販売額は1,180億円で前年同月比+8.8%と3か月連続の増加となった。百貨店は253億円で同+56.0%と3か月連続の増加、スーパーは927億円で同+0.5%と3か月連続の増加となった。	合計	117,984百万円		8.8
	百貨店	25,310百万円		56.0
	スーパー	92,674百万円		0.5
<b>●コンビニエンスストア販売額</b> 5月のコンビニエンスストア販売額は、955億円で、前年同月比+6.0%の増加となった。店舗数は5,551店となった。	<b>■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】</b>			
	販売額	95,536百万円		6.0
	店舗数	5,551店		0.7
<b>●家電販売額</b> 5月の家電販売額は299億円で、前年同月比+0.1%の増加となった。	<b>■家電販売額【九州経済産業局】</b>			
	販売額	29,910百万円		0.1
<b>●乗用車新車登録・届出台数</b> 5月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車がか前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+52.1%と8か月連続の増加となった。	<b>■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】</b>			
	乗用車計	27,495台		52.1
	普通車	8,981台		72.0
	小型車	6,353台		0.6
	軽自動車	12,161台		86.0
<b>●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。</b> 4月の消費支出(二人以上の世帯)は277,896円で、前年同月比+3.1%と2か月連続の増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同+4.7%と2か月ぶりの増加となった。	<b>■家計調査【総務省】(2021年4月)</b>			
	消費支出	277,896円		(実質) 3.1
	(二人以上の世帯)			
	実収入	514,487円		(実質) 4.7
	(勤労者世帯)			
	平均消費性向(季調値、全国)	65.8%		5.2
<b>●賃金(現金給与総額)</b> 3月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+2.6%と4か月連続の増加、製造業は同+7.1%と3か月連続の増加となった。	<b>■賃金【各県】(2021年3月)</b>			
	全産業	251,674円		2.6
	製造業	279,229円		7.1
<b>5. 住宅建設動向</b> 5月の新設住宅着工戸数は、貸家が減少したものの、持家、分譲が増加し、全体で前年同月比+3.9%と3か月連続の増加となった。	<b>■住宅建設動向【国土交通省】</b>			
	住宅着工計	7,041戸		3.9
	持家	2,445戸		8.5
	貸家	2,728戸		▲12.0
	分譲住宅	1,859戸		31.9
<b>6. 物価動向</b> 5月の消費者物価指数(九州)は、102.3で前年同月比▲0.1%と2か月連続の低下(前月比+0.1%)となった。国内企業物価指数は、103.9で前年同月比+4.9%と3か月連続の上昇(前月比+0.7%)となった。	<b>■物価動向【日本銀行・総務省】</b>			
	消費者物価指数(九州)	102.3	0.1	▲0.1
	企業物価指数(全国)	103.9	0.7	4.9
<b>7. 雇用動向</b> 5月の有効求人倍率は前月比+0.04ポイントの1.17倍、新規求人倍率は同+0.23ポイントの2.05倍となった。	<b>■雇用動向【九州各労働局】</b>			
	有効求人倍率(季調値)	1.17倍	0.04	0.03
	新規求人倍率(季調値)	2.05倍	0.23	0.25
<b>8. 公共投資動向</b> 5月の公共工事請負金額は、前年と比較し、独立行政法人が減少したものの、国、県、市町村が増加し、全体で前年同月比13.1%と2か月ぶりの増加となった。	<b>■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証㈱】</b>			
	請負金額	149,351百万円		13.1
<b>9. 企業倒産動向</b> 5月の倒産件数は前年同月比▲2.7%と11か月連続の減少、負債金額は同▲22.1%と2か月連続の減少となった。	<b>■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】</b>			
	倒産件数	36件		▲2.7
	負債金額	8,146百万円		▲22.1

(注) ・「1.生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4.消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

# 九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2021年7月13日  
九州経済産業局

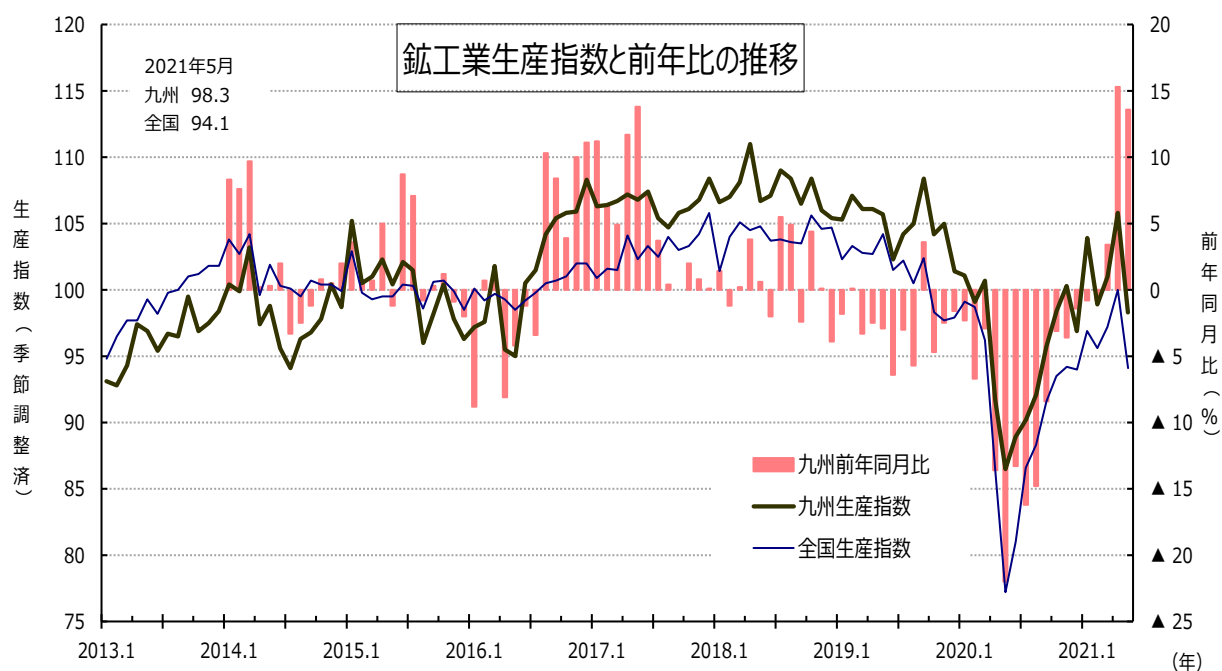
## 1. 生産動向

### (1) 全体

2021年5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は98.3となり、前月比が▲7.1%と3か月ぶりの低下、前年同月比は+13.6%と3か月連続の上昇となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
		前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %
生産	98.3	▲ 7.1	87.6	13.6	94.1	▲ 5.9	87.2	22.0
出荷	95.0	▲ 11.5	83.5	21.2	93.1	▲ 4.7	84.8	22.5
在庫	94.6	0.6	94.1	▲ 13.5	93.1	▲ 1.7	95.1	▲ 9.3
在庫率	114.8	▲ 4.3	116.8	▲ 27.5	107.7	0.3	117.5	▲ 28.4

▲印は低下を示す。(2015年=100)

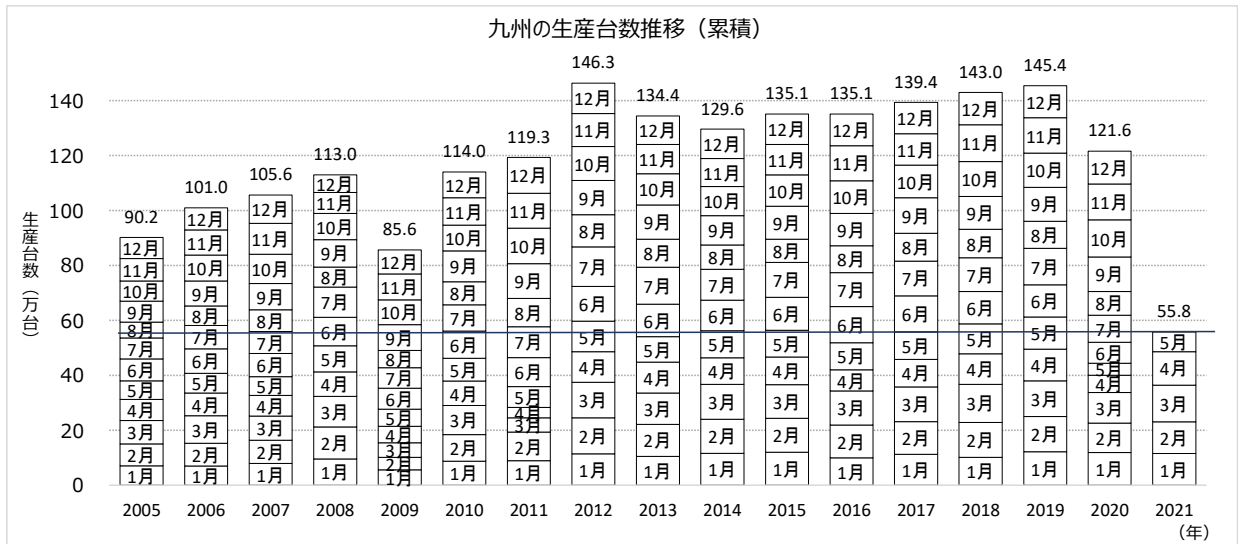


【生産】 前月比 ▲7.1 % 3か月ぶり低下 (全13業種中 上昇5業種、低下8業種、横ばい0業種)

	主な上昇・低下業種/ウエイト	前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	化学・石油石炭製品工業	997.5	2.3	▲1.4	4.1 有機化学製品(芳香族)、皮膚用化粧品等
	金属製品工業	487.4	7.0	▲5.1	2.6 超硬チップ、建築用金属製品等
低下	輸送機械工業	1,351.7	63.8	18.9	▲25.5 普通乗用車、軽・小型乗用車等
	電子部品・デバイス工業	1,359.4	▲6.1	5.4	▲11.4 半導体集積回路(CCD・その他)、半導体集積回路(メモリ)等
	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	31.4	7.1	▲5.3 半導体製造装置等

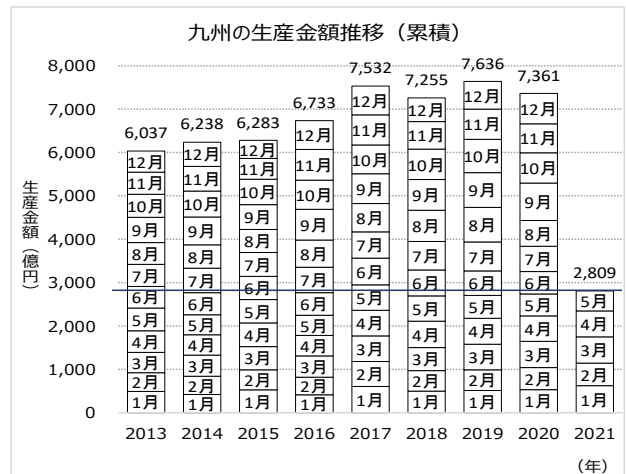
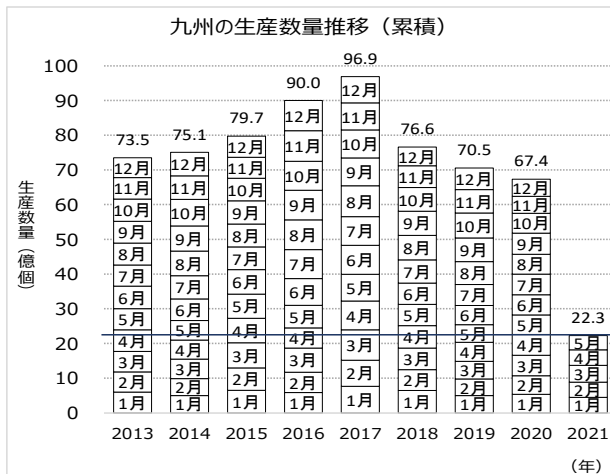
## (2) 四輪自動車生産動向

生産台数は71,251台と、前月比▲41.4%、前年同月比+63.8%となった。



## (3) IC生産動向

生産は、数量で4億1,093万個と、前月比▲7.4%、前年同月比▲27.2%となった。  
金額で461億6,000万円と、前月比▲22.7%、前年同月比▲8.2%となった。



## 2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	20年度		21年度	
	(実績)	修正率	(計画)	修正率
製造業	▲ 13.1	0.2	35.1	17.7
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 19.8	▲ 5.8	16.6	7.2
全産業 (除 電気・ガス)	▲ 15.6	▲ 2.0	28.5	14.1
(参考)全国全産業	▲ 8.5	▲ 3.2	7.1	3.2

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

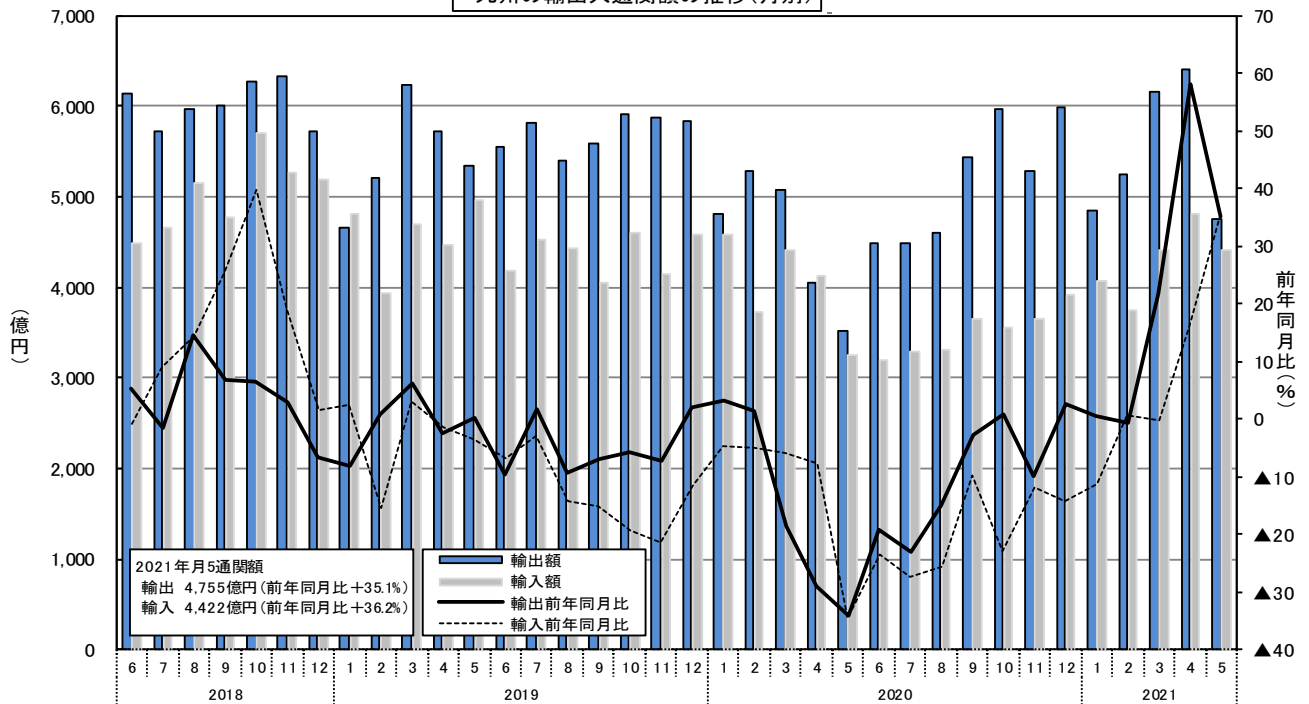
出所:日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」6月

## 3. 貿易動向

5月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	4,755億円	+ 35.1%	3か月連続の増加	7.6%
	全国	6兆2,599億円	+ 49.6%	3か月連続の増加	-
輸入	九州	4,422億円	+ 36.2%	2か月連続の増加	6.9%
	全国	6兆4,492億円	+ 27.9%	4か月連続の増加	-
貿易収支	九州	+ 333億円	-	13か月連続の貿易黒字	-
	全国	▲1,894億円	-	4か月ぶりの貿易赤字	-

		2019年	2020年	2020年			2021年	2021年					
				4~6	7~9	10~12	1~3	2月	3月	4月	5月		
輸出通関額(円)	九州	▲ 3.3	▲ 12.2	▲ 27.4	▲ 13.7	▲ 2.2	7.2	▲ 0.6	21.6	58.3	R	35.1	
	前年比:%	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 25.3	▲ 13.0	▲ 0.7	6.0	▲ 4.5	16.1	38.0	R	49.6	
輸入通関額(円)	九州	▲ 9.3	▲ 16.3	▲ 22.4	▲ 21.3	▲ 16.5	▲ 3.9	0.6	▲ 0.2	R	16.2	P	36.2
	前年比:%	▲ 5.0	▲ 13.7	▲ 15.8	▲ 19.9	▲ 11.8	1.9	11.9	5.8	R	12.9	P	27.9
対アジア	輸出	▲ 0.8	▲ 4.1	▲ 17.2	2.9	2.7	11.9	▲ 6.5	24.4	42.9	R	24.9	
	前年比:%	▲ 6.7	▲ 10.6	▲ 14.4	▲ 15.5	▲ 2.3	11.9	37.2	17.6	R	27.8	P	22.1
為替レート(¥/\$)													
(期中平均)		109.01	106.78	107.60	106.19	104.49	105.90	105.36	108.65	109.13	109.19		
原油輸入価格													
(CIFベース\$/B)		66.79	47.14	32.26	40.76	43.84	55.87	55.86	61.65	R	66.31	P	65.45

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※( )内は前年同月比
増加	自動車	995	+ 71.4%	4か月連続	+11.8%	中国(+27.8%)、アメリカ(+336.9%)、中東(+212.5%)、台湾(+3.6%)、韓国(+99.3%)、ASEAN(+267.1%)、EU(+1788.8%)等が増加。香港(▲73.4%)等が減少。
増加	鉄鋼のフラットロール製品	484	+ 78.4%	7か月連続	+6.0%	ASEAN(+91.6%)、中国(+24.6%)、EU(+2532.0%)、台湾(+13.8%)、香港(+132.7%)等が増加。韓国(▲9.1%)、アメリカ(▲4.9%)、中東(▲85.0%)等が減少。
増加	有機化合物	151	+ 50.4%	2か月連続	+1.4%	ASEAN(+153.8%)、韓国(+193.7%)、台湾(+20.5%)、香港(+539.7%)等が増加。中国(▲12.6%)、EU(▲5.3%)、アメリカ(▲16.0%)、中東(▲67.6%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	196	+ 27.9%	3か月連続	+1.2%	アメリカ(+38.5%)、中東(+44.0%)、EU(+47.2%)、ASEAN(+31.2%)、台湾(+202.1%)等が増加。中国(▲33.4%)、韓国(▲27.4%)、香港(▲3.4%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	487	+ 1.6%	3か月連続	+0.2%	ASEAN(+1.0%)、韓国(+165.5%)、中国(+19.9%)、台湾(+51.3%)、EU(+241.1%)等が増加。香港(▲35.1%)、アメリカ(▲17.4%)、中東(▲73.3%)等が減少。
減少	船舶類	129	▲ 42.2%	3か月ぶり	▲2.7%	ASEAN(+150.4%)、韓国(+177.5%)等が増加。
減少	半導体等製造装置	110	▲ 5.2%	2か月ぶり	▲0.2%	韓国(+84.7%)、アメリカ(+764.3%)、ASEAN(+180.1%)、中東(+107.5%)、EU(+1026.3%)等が増加。中国(▲33.0%)、台湾(▲25.8%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	742	+105.7%	15か月ぶり	+11.7%	1,725千KL	▲ 15.6%	4か月連続
増加	液化天然ガス	138	+ 20.7%	2か月ぶり	+0.7%	2,743百MT	+ 33.0%	12か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※( )内は前年同月比
増加	アメリカ合衆国	516	+113.2%	4か月連続	+7.8%	自動車(+336.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+38.5%)、半導体等製造装置(+764.3%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲4.9%)、半導体等電子部品(▲17.4%)、有機化合物(▲16.0%)等が減少。
増加	ASEAN	798	+ 47.0%	3か月連続	+7.3%	半導体等電子部品(+1.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(+91.6%)、船舶類(+150.4%)、有機化合物(+153.8%)、自動車(+267.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+31.2%)、半導体等製造装置(+180.1%)等が増加。
増加	大韓民国	518	+ 62.1%	10か月連続	+5.6%	半導体等電子部品(+165.5%)、自動車(+99.3%)、有機化合物(+193.7%)、半導体等製造装置(+84.7%)、船舶類(+177.5%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲9.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲27.4%)等が減少。
増加	中華人民共和国	1,304	+ 11.5%	6か月連続	+3.8%	自動車(+27.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+24.6%)、半導体等電子部品(+19.9%)等が増加。半導体等製造装置(▲33.0%)、有機化合物(▲12.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲33.4%)等が減少。
増加	台湾	388	+ 44.2%	5か月連続	+3.4%	自動車(+3.6%)、半導体等電子部品(+51.3%)、有機化合物(+20.5%)、鉄鋼のフラットロール製品(+13.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+202.1%)等が増加。半導体等製造装置(▲25.8%)等が減少。
増加	EU	304	+ 48.1%	3か月連続	+2.8%	鉄鋼のフラットロール製品(+2532.0%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+47.2%)、半導体等電子部品(+241.1%)、自動車(+1788.8%)、半導体等製造装置(+1026.3%)等が増加。有機化合物(▲5.3%)等が減少。
増加	中東	114	+ 38.6%	2か月連続	+0.9%	自動車(+212.5%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+44.0%)、半導体等製造装置(+107.5%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲85.0%)、有機化合物(▲67.6%)、半導体等電子部品(▲73.3%)等が減少。
減少	香港	205	▲ 26.2%	5か月連続	▲2.1%	鉄鋼のフラットロール製品(+132.7%)、有機化合物(+539.7%)等が増加。半導体等電子部品(▲35.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲3.4%)、自動車(▲73.4%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	中東	820	+190.1%	13か月ぶり	+16.6%
増加	ASEAN	560	+ 39.4%	4か月連続	+4.9%
増加	オーストラリア	443	+ 29.9%	2か月連続	+3.1%
増加	ペルー	111	+204.6%	6か月ぶり	+2.3%
増加	中華人民共和国	850	+ 8.4%	4か月連続	+2.0%
増加	大韓民国	199	+ 37.7%	3か月連続	+1.7%
増加	EU	139	+ 27.0%	3か月連続	+0.9%
減少	アメリカ合衆国	337	▲ 13.4%	4か月ぶり	▲1.6%
減少	ロシア	150	▲ 10.7%	2か月ぶり	▲0.6%
減少	ナイジェリア	1	▲ 63.1%	2か月ぶり	▲0.0%

## 4. 消費動向

### (1) 百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合 計		百貨店		スーパー			
		前年同月比		前年同月比		前年同月比			
		全店	(既存店)	全店	(既存店)	全店	(既存店)		
全 国	1,540,969	6.0	(5.7)	276,840	58.8	(61.9)	1,264,129	▲ 1.2	(▲ 1.9)
九州計	117,984	8.8	(7.9)	25,310	56.0	(59.3)	92,674	0.5	(▲ 1.0)
衣料品	20,002	27.1	(27.9)	11,230	61.2	(64.0)	8,773	0.1	(▲ 0.4)
飲食料品	65,044	3.6	(2.0)	6,300	42.7	(48.6)	58,744	0.6	(▲ 1.4)
その他	32,937	10.2	(9.9)	7,779	60.6	(62.2)	25,158	0.4	(▲ 0.2)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	56.0	前年の感染症の影響による営業時間の短縮や、臨時休業、催事の中止の反動などにより3か月連続で前年を上回った。	56.0	59.3
	衣料品計	26.3	前年の感染症の影響による営業時間の短縮や、臨時休業の反動などにより3か月連続で前年を上回った。	61.2	64.0
	飲食料品	11.6	前年の感染症の影響による営業時間の短縮や、臨時休業、催事の中止の反動などにより3か月連続で前年を上回った。	42.7	48.6
	その他計	18.1	高額品の動きが良かったことや、前年の感染症の影響による営業時間の短縮や、臨時休業の反動などにより3か月連続で前年を上回った。	60.6	62.2
スーパー	合計	0.5	飲食料品を中心に動きが見られたことから3か月連続で前年を上回った。	0.5	▲ 1.0
	衣料品計	0.0	前年の感染症の影響による婦人服を中心とした需要低下の反動などにより3か月連続で前年を上回った。	0.1	▲ 0.4
	飲食料品	0.4	外出自粛に伴う内食需要から惣菜などの動きが良く、3か月ぶりに前年を上回った。	0.6	▲ 1.4
	その他計	0.1	洗剤などに動きが見られたことから2か月連続で前年を上回った。	0.4	▲ 0.2

### (2) コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

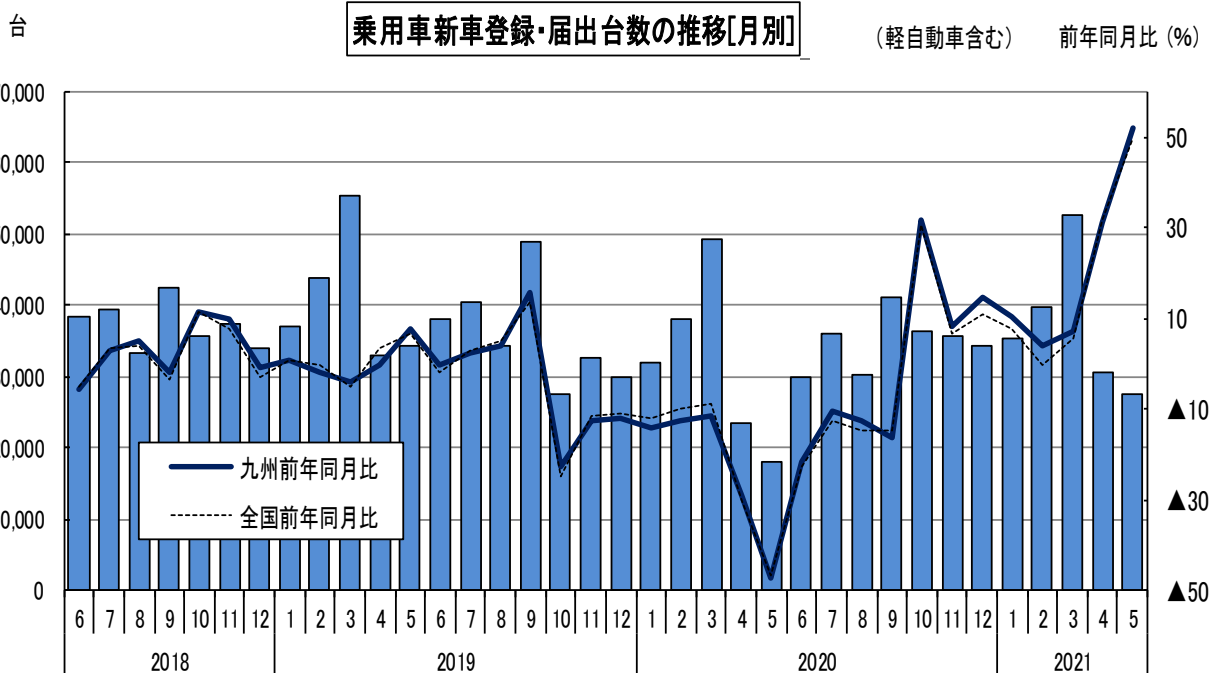
	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	95,536	6.0	5,551	0.7	973,425	5.3	56,274	0.6
全国比	9.8	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	29,910	0.1	309	2.3	382,023	0.7	2,585	1.2
全国比	7.8	—	12.0	—	—	—	—	—
ドラッグストア	60,289	▲ 4.2	1,417	▲ 7.5	617,970	1.8	17,147	3.6
全国比	9.8	—	8.3	—	—	—	—	—
ホームセンター	33,466	—	550	—	323,039	▲ 4.6	4,374	0.2
全国比	10.4	—	12.6	—	—	—	—	—



### (3) 乗用車新車登録・届出台数動向

5月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	27,495台	+ 52.1%	8か月連続	261,228台	+ 50.0%	3か月連続
普通	8,981台	+ 72.0%	8か月連続	100,386台	+ 68.4%	8か月連続
小型	6,353台	+ 0.6%	7か月ぶり	65,252台	+ 2.1%	2か月連続
軽	12,161台	+ 86.0%	8か月連続	95,590台	+ 88.8%	8か月連続

		2019年	2020年	2020年			2021年	2021年			
				4~6	7~9	10~12	1~3	2月	3月	4月	5月
九州	全体	▲ 1.9	▲ 11.4	▲ 32.2	▲ 13.4	17.6	6.9	3.8	7.1	31.4	52.1
	普通乗用車	1.6	▲ 13.0	▲ 38.2	▲ 18.7	29.3	20.4	15.3	20.9	52.2	72.0
	小型乗用車	▲ 6.1	▲ 9.9	▲ 21.3	▲ 14.8	4.0	▲ 14.0	▲ 17.4	▲ 14.3	▲ 0.5	0.6
	軽自動車	▲ 1.6	▲ 11.1	▲ 34.8	▲ 8.1	17.5	12.0	10.6	13.4	43.9	86.0
全国	全体	▲ 2.0	▲ 11.5	▲ 32.9	▲ 14.1	15.3	4.2	▲ 0.1	5.3	31.6	50.0
	普通乗用車	0.2	▲ 13.6	▲ 38.7	▲ 19.0	24.6	15.8	11.0	16.5	56.8	68.4
	小型乗用車	▲ 5.9	▲ 10.4	▲ 23.2	▲ 14.8	3.0	▲ 13.3	▲ 18.3	▲ 13.2	0.2	2.1
	軽自動車	▲ 1.1	▲ 10.0	▲ 35.0	▲ 8.2	15.7	7.9	4.7	10.9	41.7	88.8



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

#### (4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

4月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	27万7,896円	+ 3.1%
	全国	30万1,043円	+ 13.0%	2か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

4月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	51万4,487円	+ 4.7%
	全国	54万3,063円	+ 2.8%	2か月ぶり

出所:総務省「家計調査報告」

#### (5) 賃 金 (現金給与総額)

3月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	25万1,674円	+ 2.6%	4か月連続	9.2時間	▲ 3.5%	18か月連続
製造業	27万9,229円	+ 7.1%	3か月連続	14.1時間	+ 2.8%	3か月ぶり

2020年度九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	27万8,991円	+ 0.3%	3年ぶり	8.6時間	▲ 12.8%	3年連続
製造業	31万1,017円	▲ 1.3%	2年連続	12.4時間	▲ 14.9%	3年連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2019年	2020年	2020年			2021年		2021年	2021年	2021年	2021年
				4~6	7~9	10~12	1~3	1月				
九州 全産業	5人以上	▲ 1.7	0.1	▲ 1.1	0.9	0.1	1.6	0.1	2.2	2.6	-	-
		▲ 3.6	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 2.7	▲ 4.0	5.7	1.4	8.8	7.1	-	-
全国 全産業	5人以上	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 0.3	▲ 1.3	▲ 0.4	0.6	1.4	-
		▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 4.6	▲ 3.7	▲ 3.8	0.6	0.1	▲ 0.1	1.7	2.3	-

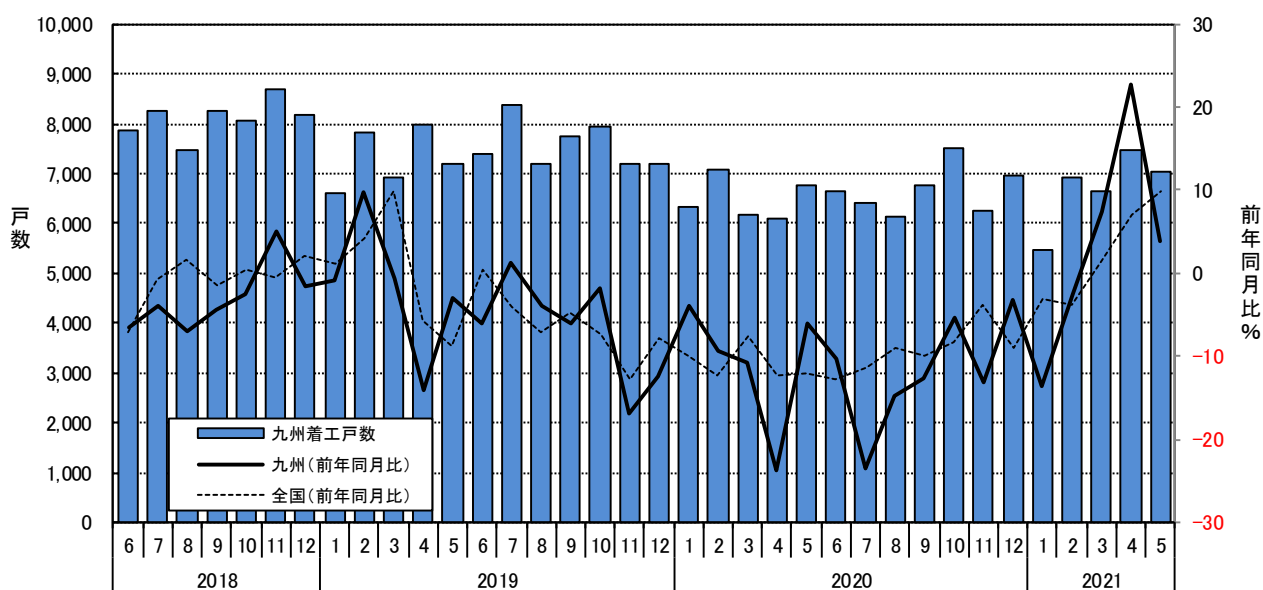
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

## 5. 住宅建設動向

5月				
九州	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	7,041戸	+ 3.9%	3か月連続	
持家	2,445戸	+ 8.5%	3か月連続	
貸家	2,728戸	▲ 12.0%	3か月ぶり	
分譲	1,859戸	+ 31.9%	4か月連続	
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	70,178戸	+ 9.9%	3か月連続	
持家	22,887戸	+ 16.2%	7か月連続	
貸家	25,074戸	+ 4.3%	3か月連続	
分譲	21,426戸	+ 8.4%	2か月ぶり	

項目			2019年	2020年	2020年			2021年	2021年			
					4~6	7~9	10~12	1~3	2月	3月	4月	5月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 13.7	▲ 17.2	▲ 7.2	▲ 3.0	▲ 2.4	7.4	22.8	3.9	
	全国	▲ 4.0	▲ 9.9	▲ 12.4	▲ 10.1	▲ 7.0	▲ 1.6	▲ 3.7	1.5	7.1	9.9	
前年比:%	持家	九州	▲ 1.2	▲ 12.6	▲ 22.8	▲ 12.1	▲ 5.0	▲ 0.6	▲ 5.8	2.6	13.7	8.5
	全国	1.9	▲ 9.6	▲ 18.2	▲ 9.9	▲ 0.9	3.4	4.3	0.1	8.8	16.2	
貸家	九州	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 6.8	▲ 11.0	▲ 13.4	0.1	18.0	▲ 12.0	
	全国	▲ 13.7	▲ 10.4	▲ 11.9	▲ 9.7	▲ 10.4	▲ 5.1	▲ 0.4	2.6	13.6	4.3	
分譲住宅	九州	2.9	▲ 13.2	▲ 7.9	▲ 29.2	▲ 12.1	9.2	38.4	29.3	48.2	31.9	
	全国	4.9	▲ 10.2	▲ 6.0	▲ 11.7	▲ 11.4	▲ 1.9	▲ 14.6	2.8	▲ 0.3	8.4	

住宅着工戸数の推移(月別)



出所:国土交通省「建築着工統計調査」

## 6. 物価動向

5月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.3	+ 0.1%	2か月ぶり	▲ 0.1%	2か月連続
5月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.7	+ 0.3%	2か月ぶり	▲ 0.1%	8か月連続

5月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	103.9	+ 0.7%	6か月連続	+ 4.9%	3か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	98.0	+ 1.0%	6か月連続	+ 11.0%	4か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	99.3	+ 2.2%	7か月連続	+ 25.4%	3か月連続

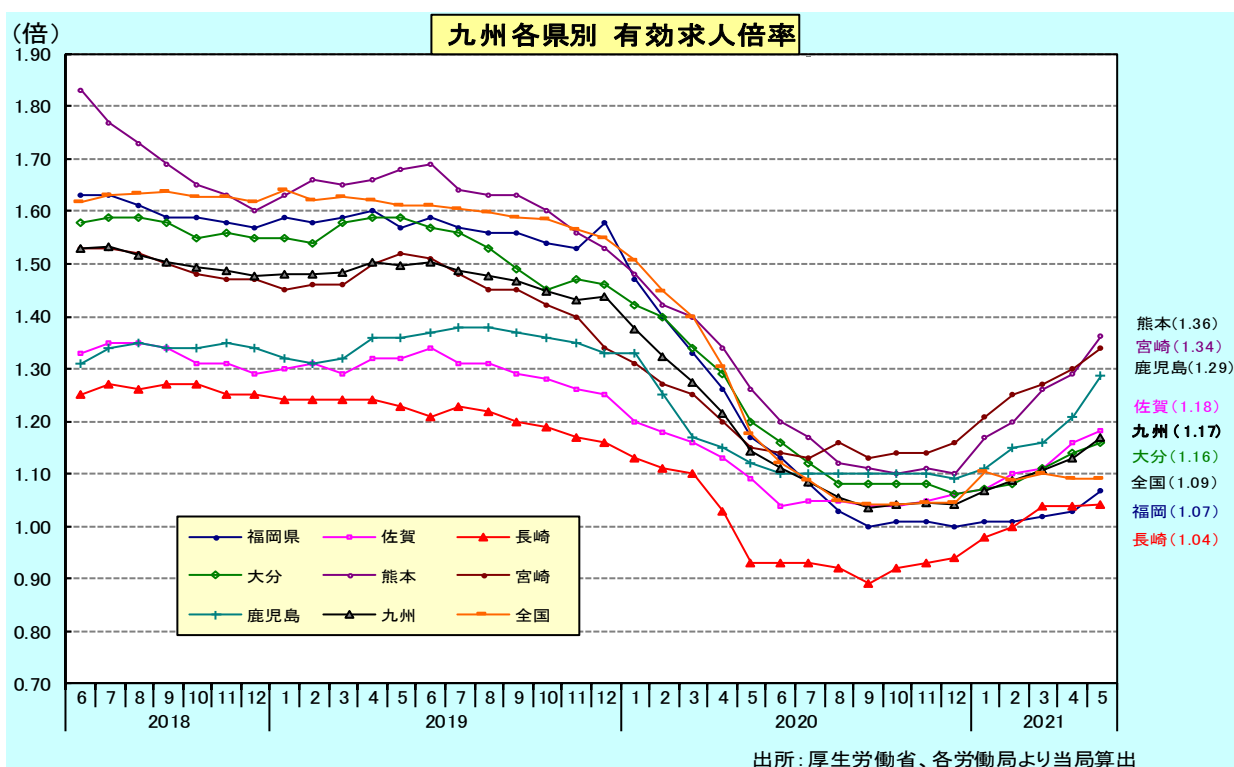
出所:総務省「消費者物価指数」(平成27年基準)、日本銀行「企業物価指数」(平成27年基準)

## 7. 雇用動向

項目		2019年	2020年	2020年 4~6	7~9	10~12	2021年 1~3	2021年 2月	3月	4月	5月
有効求人倍率	九州	1.47	1.14	1.16	1.06	1.04	1.09	1.09	1.11	1.13	1.17
	全国	1.60	1.18	1.20	1.06	1.04	1.10	1.09	1.10	1.09	1.09
新規求人倍率	九州	2.15	1.83	1.74	1.82	1.88	1.90	1.86	1.96	1.82	2.05
	全国	2.42	1.95	1.80	1.83	2.00	1.97	1.88	1.99	1.82	2.09

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

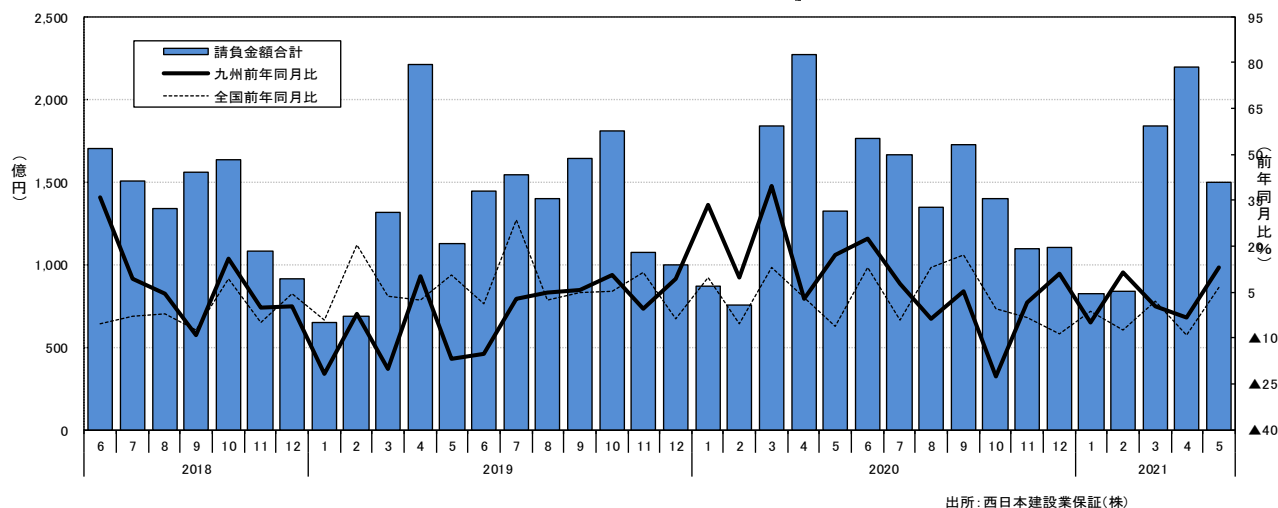
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



## 8. 公共投資動向

5月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	1,494億円	+ 13.1%	2か月ぶり	+ 10.2%	▲ 38.9%	+ 32.8%	+ 3.3%	+532.4%
全国	14,133億円	+ 6.3%	2か月ぶり	+ 14.4%	▲ 4.0%	+ 11.8%	+ 3.1%	+ 4.7%

公共工事保証実績の推移(月別)

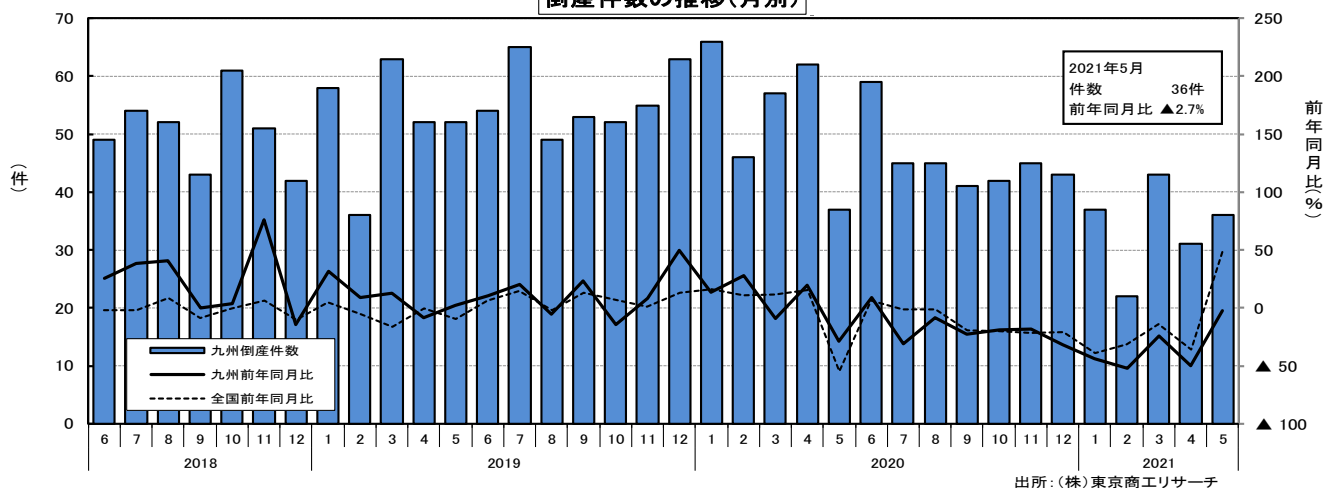


## 9. 企業倒産動向

5月		前年同月比	
倒産件数	九州	36件	▲ 2.7% 11か月連続
	全国	472件	+ 50.3% 11か月ぶり
負債総額	九州	81.5億円	▲ 22.1% 2か月連続
	全国	1,686.6億円	+107.4% 2か月ぶり

5月	業種別	前年同月比	
倒産件数	製造	4件	▲ 20.0% 5か月連続
	卸・小売	9件	▲ 25.0% 6か月連続
	建設	9件	+ 80.0% 11か月ぶり
	その他	14件	▲ 6.7% 2か月連続

倒産件数の推移(月別)



## (参考)業況判断

### (1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

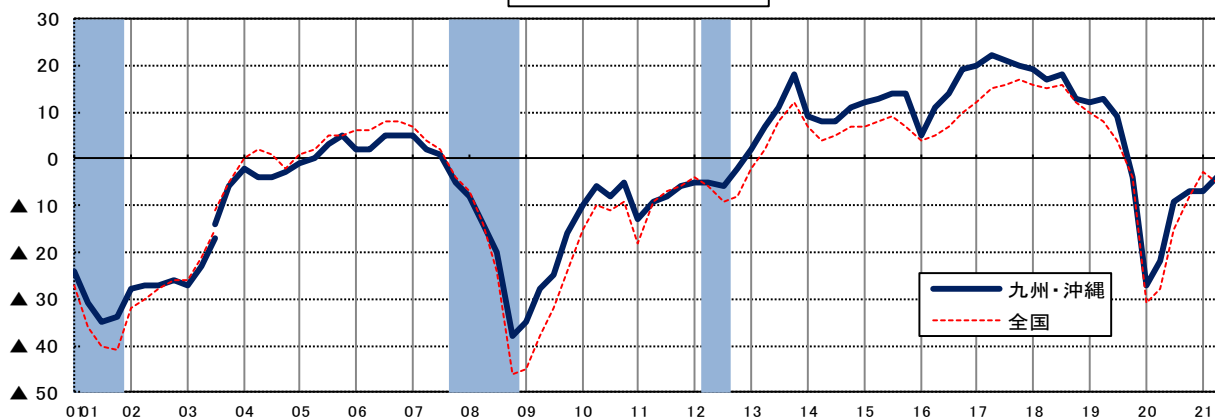
日銀短観(6月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲2(前回調査比+2ポイント)、非製造業は▲9(同▲1ポイント)、全産業で▲7(同±0ポイント)となった。次回予測(21年9月)の数值は、製造業は+3(6月比+5ポイント)、非製造業は▲7(同+2ポイント)、全産業で▲4(同+3ポイント)と予測。

(先行き)

業況判断DI		2019年				2020年				2021年		
		3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
全産業	九州・沖縄	13	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲7	▲7	▲4
	全国	12	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲8	▲3	▲5
製造業	九州・沖縄	5	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲4	▲2	3
	全国	7	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲6	2	0
非製造業	九州・沖縄	17	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲8	▲9	▲7
	全国	15	14	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲9	▲7	▲9

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(注) 網掛け部分は景気後退期

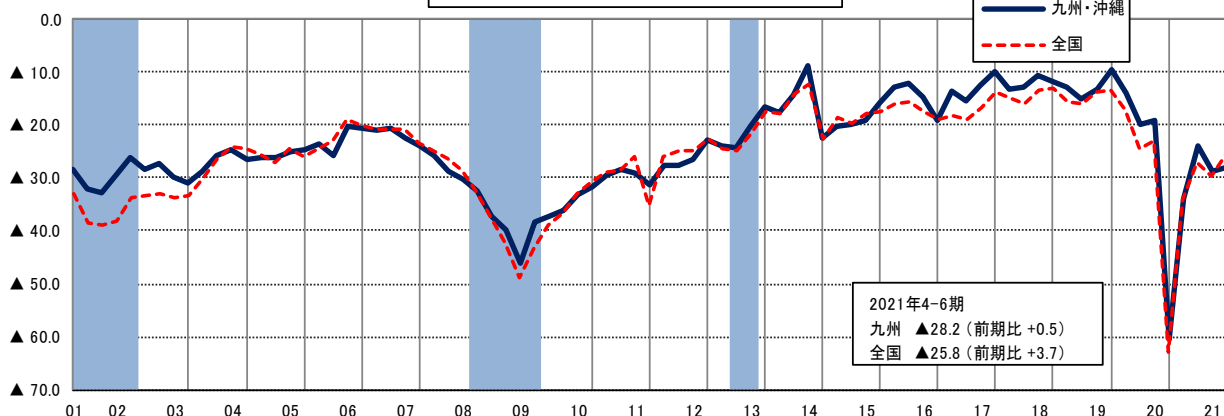
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

### (2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2021年4-6月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲28.2と前期から+0.5ポイントの上昇となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2019年				2020年				2021年	
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
全産業	九州・沖縄	▲13.4	▲9.5	▲13.9	▲19.8	▲19.1	▲60.7	▲34.1	▲24.1	▲28.7	▲28.2
	全国	▲13.9	▲13.5	▲17.2	▲24.4	▲23.1	▲63.0	▲34.0	▲27.1	▲29.5	▲25.8
製造業	九州・沖縄	▲16.3	▲10.9	▲15.1	▲22.0	▲19.8	▲66.2	▲35.5	▲27.6	▲21.6	▲22.5
	全国	▲13.6	▲13.6	▲17.0	▲25.3	▲26.7	▲65.2	▲39.9	▲29.5	▲25.0	▲17.2
非製造業	九州・沖縄	▲12.3	▲8.7	▲13.7	▲19.3	▲18.7	▲58.9	▲34.0	▲23.3	▲30.5	▲29.4
	全国	▲14.1	▲13.6	▲16.9	▲24.1	▲22.0	▲62.4	▲31.9	▲26.5	▲31.2	▲28.8

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」